

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月10日
【四半期会計期間】	第6期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	株式会社やまびこ
【英訳名】	YAMABIKO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 永尾 慶昭
【本店の所在の場所】	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
【電話番号】	(0428)32 - 6111（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 瀬古 達夫
【最寄りの連絡場所】	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
【電話番号】	(0428)32 - 6111（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 瀬古 達夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第5期 第3四半期連結 累計期間	第6期 第3四半期連結 累計期間	第5期
会計期間	自 平成24年 4月1日 至 平成24年 12月31日	自 平成25年 4月1日 至 平成25年 12月31日	自 平成24年 4月1日 至 平成25年 3月31日
売上高 (百万円)	68,659	77,576	89,045
経常利益 (百万円)	2,359	5,083	2,955
四半期(当期)純利益 (百万円)	1,031	3,769	2,423
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,107	5,356	3,637
純資産額 (百万円)	26,985	34,223	29,513
総資産額 (百万円)	78,365	81,536	79,163
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	101.60	365.85	237.88
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	34.3	41.7	37.1
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	3,714	7,307	4,029
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,226	2,659	3,261
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	855	4,831	21
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	4,667	4,799	4,907

回次	第5期 第3四半期連結 会計期間	第6期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年 10月1日 至 平成24年 12月31日	自 平成25年 10月1日 至 平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	43.92	120.46

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

## 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国は緩やかな回復基調で推移し、長期に低迷が続いた欧州や減速懸念のあったアジア経済においても持ち直しの兆しが見られました。国内経済は、政府の経済政策や企業の収益改善などにより緩やかな回復が継続しました。

当社グループを取り巻く市場環境は、国内農業機械市場は政府の経営所得安定対策や消費税増税前の駆け込み需要などにより堅調でした。国内建設機械市場は、震災復興や第4次排出ガス規制対策に加えて公共工事の増加などにより引き続き好調に推移しました。海外小型屋外作業機械市場は、主力の北米が景気回復などにより堅調となり、欧州でも好転の兆しが見られました。

また、当第3四半期連結累計期間における為替相場は、対ドル、対ユーロともに前年同四半期に比べ大幅な円安となりました。

このような環境の下、当社グループは最終年となった「中期経営計画2014」達成と今後の更なる経営基盤強化のため、新生産システムの導入および国内サービス網の充実や為替環境の変化に応じた海外代理店への販売支援強化の施策に取り組んだほか、主力市場である北米における新たな販売チャネルの構築など業務効率向上・市場競争力強化に向けた各重点施策に着実に取り組みました。

以上のような事業活動を展開した結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は次のとおりとなりました。

#### [売上高]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、775億76百万円（対前年同四半期比13.0%増）となりました。その内訳は、国内売上高が302億83百万円（同1.4%増）、米州の売上高は393億90百万円（同22.2%増）、米州以外の海外売上高は79億2百万円（同20.8%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

小型屋外作業・農業用管理機械

売上高は、560億87百万円（同15.4%増）となりました。

#### ・小型屋外作業機械

国内は、主力の刈払機や新製品を投入したパワーブロワが堅調に推移したことなどにより増収となりました。海外は、中南米が長引く政治・経済の不安定化の影響により不調だったものの、主力の北米市場はチェンソーやパワーブロワが引き続き堅調に推移したほか、欧州が回復傾向となり、海外全体の販売数量は前年並みに回復し、為替の影響で売上高は大幅に増加しました。

その結果、小型屋外作業機械の売上高は412億95百万円（同18.4%増）となりました。

#### ・農業用管理機械

国内は、経営所得安定対策や消費税増税前の駆け込み需要などを背景に大型防除機が伸長したほか、畦草刈機、モアや高所作業機などが引き続き好調に推移しました。

海外は、穀物価格下落の影響などで販売数量は減少しましたが、円換算後の売上高は増収となりました。

その結果、農業用管理機械の売上高は147億91百万円（同7.8%増）となりました。

一般産業用機械

第3四半期に入って、社会インフラ老朽化対策需要などで投光機が伸長し、主力の発電機も建機レンタルルートでの資産購入を中心に復調しましたが、第2四半期までの落ち込みを補うまでには至らずに前年を下回りました。

その結果、売上高は81億10百万円（同1.6%減）となりました。

その他（アクセサリ、アフターサービス用部品、他）

国内外とも販売数量は微増となりましたが、売上高は為替の影響により大幅な増収となりました。

その結果、売上高は133億78百万円（同13.2%増）となりました。

#### [損益]

前年同四半期に比べて大幅な円安による利益の増加に加えて国内外の販売が好転したことにより、営業利益は41億95百万円（同102.9%増）となりました。経常利益は為替差益の増加により50億83百万円（同115.5%増）、四半期純利益は37億69百万円（同265.6%増）となり、いずれも前年同四半期に比べて大幅な増益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて23億72百万円増加し815億36百万円となりました。

その主な要因は、商品及び製品の減少20億49百万円があったものの、受取手形及び売掛金の増加21億86百万円、原材料及び貯蔵品の増加9億23百万円等によるものであります。

### 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて23億36百万円減少し473億13百万円となりました。

その主な要因は、電子記録債務を含めた支払手形及び買掛金の増加22億61百万円があったものの、借入金の減少35億73百万円等によるものです。

### 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて47億9百万円増加し342億23百万円となりました。

これは、利益剰余金の増加31億51百万円、為替換算調整勘定の増加13億22百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ4.6ポイント増加し、41.7%となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の収支は、営業活動によるキャッシュ・フローが73億7百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが26億59百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが48億31百万円の支出となりました。その結果、当第3四半期連結会計期間末の資金残高は47億99百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益50億44百万円、減価償却費21億24百万円、たな卸資産の減少29億72百万円、売上債権の増加13億67百万円、法人税等の支払額10億99百万円等により、73億7百万円の収入（前年同四半期は37億14百万円の収入）となりました。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得25億83百万円、有形固定資産の売却28百万円等により、26億59百万円の支出（前年同四半期は22億26百万円の支出）となりました。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金支払6億18百万円、長期借入金の返済14億23百万円、短期借入金の純減少51億16百万円、長期借入れによる収入24億10百万円等により、48億31百万円の支出（前年同四半期は8億55百万円の支出）となりました。

## (4) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上および財務上の対処すべき課題について、重要な変更および新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、34億90百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,027,107	11,027,107	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	11,027,107	11,027,107		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	11,027,107	-	6,000	-	1,500

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 722,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,156,400	101,563	-
単元未満株式	普通株式 148,107	-	単元(百株)未満の株式
発行済株式総数	11,027,107	-	-
総株主の議決権	-	101,563	-

(注)1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、株主名簿上は当社名義となっておりますが実質的に保有していない株式100株が含まれております。なお、「議決権の数(個)」の欄には、株主名簿上は当社名義となっておりますが実質的に保有していない議決権の数1個が含まれておりません。

2. 「単元未満株式」の欄には自己株式が含まれております。自己株式の数は、株主名簿上は当社名義となっておりますが実質的に保有していない株式123株のうちの単元未満株式23株と、当該株式を除いた自己株式722,680株のうちの単元未満株式80株であります。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
(自己保有株式) 株式会社やまびこ	東京都青梅市末広 町1-7-2	722,600	-	722,600	6.55
計	-	722,600	-	722,600	6.55

(注)上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が100株(議決権の数1個)があります。当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の「株式数(株)」の欄に含まれております。但し、「完全議決権株式(その他)」「議決権の数(個)」には当該株式に係る議決権の数1個を含めておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,907	4,799
受取手形及び売掛金	<sup>2</sup> 14,853	<sup>2</sup> 17,039
商品及び製品	25,356	23,307
仕掛品	1,250	1,327
原材料及び貯蔵品	6,212	7,136
その他	2,504	2,611
貸倒引当金	157	173
流動資産合計	54,927	56,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,258	7,321
土地	8,137	8,163
その他(純額)	5,704	6,216
有形固定資産合計	21,100	21,701
無形固定資産	757	1,003
投資その他の資産		
その他	2,877	3,251
貸倒引当金	498	469
投資その他の資産合計	2,378	2,782
固定資産合計	24,235	25,486
資産合計	79,163	81,536
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<sup>2</sup> 14,810	<sup>2</sup> 8,574
電子記録債務	-	8,497
短期借入金	20,320	15,623
1年内返済予定の長期借入金	2,374	1,661
未払法人税等	459	587
賞与引当金	142	-
製品保証引当金	826	558
その他	4,871	4,054
流動負債合計	43,805	39,557
固定負債		
長期借入金	2,724	4,560
退職給付引当金	858	429
環境対策引当金	39	39
製品保証引当金	73	344
その他	2,147	2,382
固定負債合計	5,844	7,755
負債合計	49,649	47,313

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	9,547	9,548
利益剰余金	15,974	19,126
自己株式	738	743
株主資本合計	30,784	33,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	477	677
為替換算調整勘定	1,891	569
その他の包括利益累計額合計	1,414	108
少数株主持分	144	183
純資産合計	29,513	34,223
負債純資産合計	79,163	81,536

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	68,659	77,576
売上原価	51,008	56,143
売上総利益	17,650	21,433
販売費及び一般管理費	15,583	17,237
営業利益	2,067	4,195
営業外収益		
受取利息	28	8
受取配当金	75	38
為替差益	270	893
その他	165	175
営業外収益合計	540	1,115
営業外費用		
支払利息	228	186
その他	20	41
営業外費用合計	248	227
経常利益	2,359	5,083
特別利益		
固定資産売却益	4	7
特別利益合計	4	7
特別損失		
固定資産除売却損	28	38
減損損失	-	7
リース解約損	18	-
製品保証引当金繰入額	239	-
特別損失合計	286	45
税金等調整前四半期純利益	2,077	5,044
法人税、住民税及び事業税	1,074	1,308
法人税等調整額	70	78
法人税等合計	1,004	1,230
少数株主損益調整前四半期純利益	1,072	3,814
少数株主利益	41	44
四半期純利益	1,031	3,769

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,072	3,814
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66	200
繰延ヘッジ損益	2	-
為替換算調整勘定	33	1,341
その他の包括利益合計	35	1,541
四半期包括利益	1,107	5,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,067	5,292
少数株主に係る四半期包括利益	40	63

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,077	5,044
減価償却費	2,011	2,124
減損損失	-	7
退職給付引当金の増減額(は減少)	204	429
貸倒引当金の増減額(は減少)	6	32
製品保証引当金の増減額(は減少)	231	72
受取利息及び受取配当金	104	46
支払利息	228	186
賞与引当金の増減額(は減少)	-	142
売上債権の増減額(は増加)	1,009	1,367
たな卸資産の増減額(は増加)	282	2,972
仕入債務の増減額(は減少)	1,945	415
未収消費税等の増減額(は増加)	325	63
その他	394	654
小計	4,313	8,546
利息及び配当金の受取額	104	46
利息の支払額	229	185
法人税等の支払額	472	1,099
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,714	7,307
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	232	7
投資有価証券の償還による収入	100	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	2,116	2,583
有形及び無形固定資産の売却による収入	60	28
その他	37	96
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,226	2,659
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,488	5,116
長期借入れによる収入	1,993	2,410
長期借入金の返済による支出	984	1,423
自己株式の売却による収入	199	-
配当金の支払額	486	618
その他	90	83
財務活動によるキャッシュ・フロー	855	4,831
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	75
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	610	107
現金及び現金同等物の期首残高	4,056	4,907
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,667	4,799

【注記事項】

(会計方針の変更)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成25年4月1日  
至平成25年12月31日)

(たな卸資産の評価方法の変更)

第2四半期連結会計期間より、当社は原材料の評価方法を最終仕入原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)から、総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更いたしました。

この変更は、当社が平成25年8月に生産管理に係る基幹システムを更新したことに伴い、より適切にたな卸資産の評価及び期間損益計算を行うことを目的として行ったものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であり、遡及適用は行っていません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

次に掲げるものの借入金等に対し保証をしております。

前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)	
やまびこ東部農機商業協同組合	211百万円	やまびこ北海道農機商業協同組合	116百万円
やまびこ東北農機商業協同組合	210	やまびこ九州農機商業協同組合	85
やまびこ西部農機商業協同組合	105	やまびこ西部農機商業協同組合	62
やまびこ北海道農機商業協同組合	80	やまびこ東部農機商業協同組合	61
やまびこ中部農機商業協同組合	76	従業員持家ローン等	10
やまびこ九州農機商業協同組合	46		
従業員持家ローン等	13		
計	741	計	335

- 2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	318百万円	417百万円
支払手形	46	73

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

- 1 当社グループの主力製品は、主として第1四半期から第2四半期に集中して需要が発生する傾向があります。そのため、売上高に季節的変動がみられ、第1四半期及び第2四半期に高くなる傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
現金及び預金勘定	4,667百万円	4,799百万円
現金及び現金同等物	4,667	4,799

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月4日 取締役会	普通株式	486	48.00	平成24年3月31日	平成24年6月8日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月27日 取締役会	普通株式	618	60.00	平成25年3月31日	平成25年6月7日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	小型屋外作業・ 農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高						
外部顧客への 売上高	48,596	8,245	56,842	11,817	-	68,659
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	32,807	6,372	39,179	3,693	42,873	-
計	81,404	14,617	96,021	15,510	42,873	68,659
セグメント利益	45	326	372	4,638	2,942	2,067

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 2,942百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致させております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	小型屋外作業・ 農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高						
外部顧客への 売上高	56,087	8,110	64,198	13,378	-	77,576
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	36,569	6,070	42,639	4,216	46,856	-
計	92,657	14,180	106,837	17,594	46,856	77,576
セグメント利益	1,521	135	1,657	5,462	2,923	4,195

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 2,923百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致させております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失又はのれん等はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	101円60銭	365円85銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,031	3,769
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,031	3,769
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,150	10,304

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月10日

株式会社やまびこ

取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 福田 光博 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 澁江 英樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社やまびこの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社やまびこ及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。